

令和5年 網走市議会
総務経済委員会 会議録
令和5年11月27日（月曜日）

○日時 令和5年11月27日 午前10時00分開会

○場所 議場

○議件

1. 令和5年度除雪計画について

○出席委員（8名）

委員長	井戸達也
副委員長	石垣直樹
委員	小田部照
	澤谷淳子
	立崎聡一
	深津晴江
	松浦敏司
	山田庫司郎

○欠席委員（0名）

○議長 平賀貴幸

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（5名）

金兵智則
里見哲也
永本浩子
古田純也
古都宣裕

○説明者

副市長	後藤利博
建設港湾部長	立花学
都市管理課長	澁谷一志

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	石井公晶
総務議事係	山口諒

午前10時00分開会

○井戸達也委員長 ただいまから、総務経済委員会を開会します。

本日の委員会ですが、所管事務調査であります。

それでは、議件1. 令和5年度除雪計画について説明を求めます。

○澁谷一志都市管理課長 資料1号を御覧願います。令和5年度除雪計画について御説明をいたします。

1ページ、1のはじめにであります。本年度の除雪計画策定に当たりましては、5ページの除雪基準及び6ページの除雪の出動基準を基に過去の業務実績を勘案の上、検討を行い郊外地域の状況等につきましては、道路河川愛護会委員の皆様からの意見をお聞きするなど協議を行いまして、御覧の計画を策定した次第でございます。

次に2の除雪方針であります。冬季間の交通確保、市民生活の安定維持などを目的に通勤、通学路をはじめ、主要幹線道路及び歩道の早期除雪に今年度も努めてまいりたいと考えております。

次に3の除雪期間であります。例年同様、12月1日から3月31日まで行います。

次に4の除雪路線、5の除排雪体制につきましては記載のとおり路線・延長の除雪を実施し、昨年同様の除排雪体制を確保いたしました。

次に6の除排雪機械の体制であります。昨年同様、84台を配備いたしました。

（1）委託事業者へ貸し出す官貸車両につきましては、昨年より1台多い23台を配備し、そのうち新規の小型ロータリー1台を更新しました。

（2）事業者からの借上車両につきましては、昨年より1台少ない50台を配備いたしました。

（1）、（2）の増減理由といたしましては、3月末で除雪業者1社が撤退したことによる除雪路線の組替えを行ったものであります。

（3）郊外委託車両につきましては、昨年同様、11台を配備いたしました。

次に2ページ、7の除排雪作業であります。市街地の幹線道路を重点路線に位置づけ、除排雪を行うとともに除雪状況等を勘案し、排雪を実施いたします。

（1）除雪作業につきましては、「かき分け除雪」により通行の確保に努めます。

（2）排雪作業につきましては、幹線道路、生活道路において、降雪により道幅の確保が困難となる

ことが予想される場合など、状況に応じて排雪を実施いたします。

次に8の幅員確保・路面整正及び滑り止め対策がありますが、除雪後の滑りやすい路面や、わだち等による交通事故を防止するため、路面整正を行うとともに滑り止め対策として融雪剤・微砂利の散布を行うほか、12月1日よりロードヒーティングを稼働いたします。

次に9の歩道の除雪であります、記載のとおり、歩道・延長の除雪を実施いたします。

次に10の除雪指定外路線についてであります、農作業等の準備を見据えた雪割り作業についてでありまして、例年同様の対応を計画しております。

次に11の市民への周知啓発であります、例年同様、広報あばしりやチラシの市内全戸配布など市民への啓発に努めてまいります。

次に12の間口の除雪についてであります、除雪は、道路交通を確保するために道路の雪を左右にかき分ける「かき分け除雪」を行っておりますので、どうしても各家庭の間口に雪が残ってしまいます。間口に残った雪は各家庭で処理するように周知啓発を図り、理解と協力を得るように努めてまいります。

次に3ページ、13の網走市公式LINEを活用した市民サービスの向上についてであります、市公式LINEを活用し、雪による道路交通の支障箇所などの通報に対して迅速な対応に努めてまいります。

次に14の交通その他であります、例年同様、除排雪作業の支障となる路上駐車車両への対策を講じます。

次にページが飛びますが、15ページのチラシ、除雪についての五つのお願い、公園への雪置きについてであります、道路除雪によって各住宅の間口等に溜まった雪の除雪や排雪場に苦慮している市民の声があることから、間口等に溜まった雪を公園や市有地、個人所有地への雪置きの活用について町内会連合会と検討を行い、今シーズンは記載のある五つの公園と記載にはありませんが、一つの公園用地を対象に公園に属する町内会と連携して、一定のルールの下、雪置きの問題点を検証することとしました。

今後、今回の検証を踏まえ、雪置場として利用できる公園、市有地、個人所有地を増やしていきたいと考えております。

続いて、ページが戻りますが、7ページには令和5年度冬季除雪緊急連絡体制を、8ページから13ページには除雪路線図などを添付しておりますので、後ほど御覧いただければと思います。

説明は以上でございますが、本年度におきましても、市民の皆様が快適に冬を過ごせるよう除雪業務の推進に努めてまいります。

説明は以上でございます。

○井戸達也委員長 ただいまの説明で、質疑等ございますでしょうか。

○松浦敏司委員 おおよそわかったのですが、業者が撤退しても、車両が確保できたということなのでそれはいいかなというふうに思うのですが、もう一つ、オペレーターがなかなか確保しきれないというか、高齢であったり、いろいろ聞くわけですけども、このオペレーターの確保についても問題ないというふうに考えてよろしいのでしょうか。

○澁谷一志都市管理課長 昨年と同様にですね、アルバイトも確保しながら何とか昨年並みの人員というのは確保できましたけれども、いずれにしろ、オペレーターにつきましては、50代以上の割合が高くなっているということは変わっておりませんので、引き続き人材の確保には努めていきたいと考えております。

○松浦敏司委員 どの分野でも、後継者不足ということで30代、40代の人たちの確保、やっぱり大事なというふうに思うので、ぜひ引き続き努力していただきたいと思います。

あと間口の関係で、間口の除雪は今までどおりというふうに理解しているのですが、これは私の理解が誤解なのかもしれませんが、特定の地域を実験的に間口の除雪をするような話もちらっと聞いたような気がするのですが、その辺はどんなふうになるのでしょうか。

○澁谷一志都市管理課長 間口に残った雪につきましては、従来どおり福祉でやっております高齢者等の除雪サービスを利用いただくと。今回、五つの公園につきましては間口、道路、歩道にある支障となる雪につきましては、今回、モデルとしております五つの公園に雪入れを一応、実証実験するというになっております。

○松浦敏司委員 取りあえずは五つの公園ということわかりました。

引き続き努力をして、とにかく市民は雪の置場がないというのが一番の悩み事で、あるところはいいい

のですけれども、ないところは大変苦勞しているの
で引き続き努力してほしいと思います。

以上です。

○井戸達也委員長 ほかにございませんか。

○澤谷淳子委員 今の説明を聞きまして、車両の確保とか今、松浦委員が言ったとおりなのですが、結局、前は4グループあったのが昨年、一昨年と3グループになったんじゃないかなかったです。そういう感じで、要するに体制も3グループの体制が保たれて、実際はそれが除雪している人達で二つのグループは、一つは休んで二つがやるとか、それとも三つ一週に担当してとか、そういうことちょっとわかりますでしょうか。

○澁谷一志都市管理課長 今の御質問なのですから、排雪のことだと思うのですが、昨年、一昨年と排雪をしております、2班でやっております。今年もですね、雪の状況にもよりますけれども、もし排雪が実施されるということになれば、昨年同様に2班体制でやっていきたいと考えております。

○澤谷淳子委員 すいません。二つだったのですね。

了解いたしました。

○井戸達也委員長 ほかに。

○石垣直樹委員 計画を見させていただきましたが、間口除雪については、今年度も何も進展はないということではよろしかったですか。

○澁谷一志都市管理課長 間口除雪につきましては、先ほども答弁しましたが、高齢者のサービスも使いながらやっていただくと。今回ですね、公園に雪入れも可能となる場所がありますので、そこら辺を今年1年通してやって、どのような形で堆積されるのかどうかいろんなことを検証しながらですね、4月の雪解け後に町内会との協議もして、どういう結果になったのかということも踏まえてできれば、来シーズンは公園の数を増やしたり、あと私有地の活用、あと民地の活用もしていきたいと考えております。

○石垣直樹委員 その公園の件は重々承知しているのですけれども、間口除雪ということでその高齢者サービスのほうでございますね。知り合いの方がやられているのですけれども、単純に合わないって言われるのですけれども、そういった御相談とかって何かありますか。

○澁谷一志都市管理課長 そちらの質問につきましては福祉の、高齢者のほうのサービスとなっておりますので、ちょっと詳しいことは承知しておりませんが、除雪をする中では依然として間口に関する除雪の問合せというのは一定程度、当然でございますので、そこではどうしても残ってしまうということを説明しながら、御理解いただいている状況でございます。

○石垣直樹委員 高齢者のほうをやっている金額が合わないという話だったのですけれども、次の質問をさせていただきます。

移住されてきた方がいます。これちょっと先週頂いた案件ですけれども、網走の自然と景観に憧れて、網走市に移住をしてきました。場所が天都山にあるところなのですけれども、家を建てて、40代の夫婦がこれから生活しようというところで初めての冬が来ます。家の前まで除雪が来ないという事実を家を建ててから知りました。私たちどうしたらいいのだらうという相談を頂きました。そういった相談は受け付けてもらえるのですか。

○澁谷一志都市管理課長 除雪をやっていないところ、特にそういうところは個人の所有地とか周辺に民地が少ないという状況だとございますが、そういう問合せは一定程度あります。

除雪する基準につきましてはですね、一定程度の基準がございますので、その基準に合致すれば市道ではなくても除雪というのは可能になりますので、今どういう状況になっているのかわかりませんので、こちらのほうに問合せをしていただければ、どういう状況かというのを対応したいと思います。

○石垣直樹委員 それは、後日詳しく相談させていただきますが、移住を勧めている網走市としては、こういった事例があるということを除雪を担っている側から企画であったりそういったところにも周知していく必要が今後あるのかなと思いますので、検討をお願いします。

以上です。

○井戸達也委員長 ほかに。

○深津晴江委員 公園の雪置場について今年度、進めていくということでこの5か所につきましては、市からの提案でお願いしたのか、あるいは町内会から、うちいいよってことで手が挙がったのかっていうところをお聞かせ願いたいと思います。

○澁谷一志都市管理課長 今回の5か所につきましては昨年末にですね、道路除排雪に関するアンケートを行っております。その中で、仮に市が公園の雪

置きに関する取組があった場合、町内会において協力できるかという問いもありましたので、その中から18ぐらいの町内会から回答が、取組ができるっていうことがあったのですけれども、その中で公園がない町内会もあったりしましたので、今回、公園のある中で取組ができるっていう町内会を5か所ですね、選定したところでございます。

○深津晴江委員 やはり雪置場、大変助かる事業かというふうには根本的に考えています。

今年、いろいろ何点かで問題点の検証をされていくってことなのですが、評価項目みたいなものは明らかになっているのでしょうか。

○澁谷一志都市管理課長 当然、雪の量とかもございますし、あと雪を入れることによって微砂利とか、そういうごみが入ってこないかということもございます。あと、公園の周りは住宅っていうところもありますので、その住宅への影響っていうこともあります。

今回、公園の中に入れるルールとしましては、こちらのほうで町内会と協議して、ここのスペースに雪を入れてくださいっていうことで周知をしておりますのでそこら辺ですね、あと雪解けによって、公園の利用が遅れるのかどうかっていうのもございます。そこら辺を4月の雪解け後に検証をして次のステップに向けたと考えております。

○深津晴江委員 いろいろな視点で、例えば雪を捨てている時期とか、本当に雪の量によっても違うと思うのですけれども、雪を捨てている時期と、あと終わってからの公園がどうなっているのかなというところでは、いろいろな御想定があるようなので、そこをしっかりとっておかないと、来年度、どのように生かしていくのかっていうところの何でしょう、課題整理っていうところができないかと思っておりますので、ぜひ。多分、澁谷課長の頭の中にあるところを明らかにしておいて住民の方たちにもしていただくとか、何かそういう工夫もできるかなというふうに考えました。

以上です。

○井戸達也委員長 ほかに。

○小田部照委員 私からも、ちょっと確認しておきたいのですが、一通り除雪計画については理解しているところではあります。

先ほど、御答弁で機械の体制整備ですけれども、今シーズン1台増やす形で入れ替えるというよりも増やす形で対応するというようなお話でした。前

回、私この委員会で質問させていただいているように、前回も小型ロータリーを入れ替えて、今回、小型ロータリーが1台増えるというような形でしょうけれども、この入れ替えた後の利活用についてどういう活用をされているのか説明していただきたいというふうに話していたと思うのですけれども、その辺はどうなっているのでしょうか。

○澁谷一志都市管理課長 小型ロータリーの更新に伴う活用ですが、現在ですね、庁内というか、各部署で活用できる場所がないかという確認もしておりますので、最終的に利活用はないっていうふうになれば、市内で活用できる業者とかっていうような形に、売払うってことは考えております。

○小田部照委員 そうなのですけれども、売ればいいのですけれども利活用しない、使いたいという要望がない場合はっていうお話でしたけれども、この除雪路線というのは市内公共施設も含まれます。その中に、小中学校もありまして、この小中学校って主に用務員さんが除雪の対応をするのですけれども、ナンバーのない古いSUVをメインにですね、それに排土板を着けて押すだけの非常に昔から変わらないスタイルで頑張っているのですけれども、そういう用務員さんたちの現場の声で、やっぱりこうやって、もし入替えで余ったような小型ロータリーとかがあれば非常に有効に活用できると。これ、部局が教育部局とまたがるので、ちょっとその辺は柔軟に対応していただきたいと思っているのですけれども、実際そういうことも僕は必要なのだろうと思いますけれどもいかがですか。

○澁谷一志都市管理課長 当然、委員おっしゃるとおり、学校の用務員さんは、土木にいた運転手というのもありまして、そこら辺も活用をどうかというのは確認しておりますので、あとは、その運転できる人がいる場合はいいのですけれども、今後いなくなったときには運転できる人もいなくなるということでそこら辺も考えながら、そちらのほうは学校の部局と慎重に進めていきたいとは思っています。

○小田部照委員 免許の関係の話もありましたが、本当に今、答弁があったように、もともと半数近くの用務員の方は免許を持って技術を持っている方が小中学校に用務員として今おりますので、そういった方々からの要望が上がっています、実際。きちっとそういうことを教育部局と話し合ってますね、有効な利活用ができるように。まだまだ使える車両です、そういう対応に努めていただきたい

と思います。

以上です。

○井戸達也委員長 ほかにございませんか。

○山田庫司郎委員 委員の皆さんからは、大体出ているのだというふうに思いますが、何点かちょっと確認を含めてしたいのですが、まず国、道それと市の協議会があると思いますが、いつもお話しさせていただいてお願いをさせていただくのですが、国が先なのか、道が先なのか、市が先なのか、順番が様々です。それで交差点が、最終的にやるところが対応するのか私はわかりませんが、非常に煩雑に残る場合があるということは、原課のほうもわかると思いますので、ここはやっぱり三者でしっかり協議していただいて、どこが対応するのか、そのことも含めてですね、きちっと交差点についてはお願いをしていきたいというふうに思います。

それと、各取付道路と言いますか、車の出入り口ですね。個人の家の出入り口はちょっと別にしてですね、やっぱり市道が、幹線道路にいっぱい接して出てくる場所がかなり多くなりますから、全てのところってというのは非常に難しいと思いますが、やっぱり排雪の雪が高くなりますと、非常に出るときに危ないということは、原課のほうも承知のことと思いますが、これはやっぱり現状を見ながらですね、対策を考えていくということもこれ近々にやって、全部をやるということではなくて、やっぱり必要なところについてはきちっと対応するということが頭にに入れていただきたいというふうに思います。

それと、今年は町内会の御協力もいただいて公園を5か所ということで、町内会の方たちが除雪のところまで持って行かなくても町内会の中で排雪ができるという一つの仕組みづくりだというふうに私は理解しているのですが、公園もですね、今、先ほど課長からあったようにフェンスがあったり、遊具があったり、勝手にあちらこちらに投げられますと、後が大変だということで、場所の指定も含めていろいろとちゃんとして、これから実証をやって問題点が出てくれば、やっぱり対策をしていくということになると思いますが、ただこれから、町内会も考えていかなければならないとは思いますが、民有地も含めたその地域での排雪の場所っていうのは、これから、やっぱり確保をしていくということで市としては考えているのか。もし考えていけば、今後これ実証をやった後の拡大を含めて、どうしていくかということも含めてですね、私は考えていかなければ

ならないのだろうと、こんなふうに思います。軽トラックで自分で大曲のほうと潮見のほうの投げられる雪捨て場に持って行くのも一つですが、近くにあればということも含めてなので、この辺の考え方、もしできれば、ぜひ、今御答弁いただければと。

それと、大変体制が厳しい中で台数もそうですし、オペレーターの数も本当にぎりぎりできっと対応していると思いますから、あんまりこんなこと言えないのですが、やっぱりオペレーターの技術のこともいろいろと出ると思います。やっぱり、最初はわからないですから技術が未熟なのはやむを得ないと思いますが、やっぱりあの箇所、この箇所が最初の除雪から、私から言わせれば非常に悪いので、後々それがずっと雪が降るたびに道路と雪の積もる量が多くなって、わだちが後になってから非常に出てくるということもありますので、できれば、そのオペレーターの技術更新も含めて何か対策があれば非常にありがたいかなと、こんなふうに思います。

それと、去年は排雪作業、全線の排雪、それをやれば一番いいのですが、去年なんかは対応しているのを見ていますと、やっぱり箇所箇所も含めた、必要なところについては部分部分の排雪もいろいろと対応していたように私自身思っていて、市民はあそこやったらうちの前もやってほしいということは切なる思いはわかりますけれども、やっぱり市内を見ながらバス路線、それから学校に通う路線とか、やっぱり重要路線も優先して、ここは排雪しなきゃならない、ほかのところは待ってくださいと、こういうことも私は市民に説明をし理解いただくことも必要なのだと思う。全線でできれば一番いいですが、そういうことになかなか今の2班体制っていうのはこれ非常に厳しいと思います。

そういうことも含めてですね、私はできる限りのことはいろいろなことを考えて、除雪をやっていたいただければとこんなふうにちょっと思うのですが、もし御答弁いただけたところがあれば、御答弁いただきたいと思います。

○澁谷一志都市管理課長 まず市道とか、道道、国道、交差点、交わるところの除雪につきましては、毎年、今年ですと今月の30日に国道、道道、関係機関が集まりまして、除雪の会議をしております。

その中でも毎年ですね、交差点につきましては、一番最後に入るところがきれいにしていってということで確認しておりますので、そのようなことで今年もしていきたいとは思っております。

次、市道の交差点ですが、こちらのほうにつきましては、当然、幹線、生活道路から入るところの交差点、程度は多々、数多くあります。こちら、雪の状況にもよりますが、交差点はできるだけ気を遣いながら除雪というのは、見通し確保には努めてまいりたいと思っております。

公園につきましては、公園のあるところはやっぱり多くはございません。公園以外にも、やっぱり民地の活用もしないと駄目ですし、そのほか、市有地、公園用地もございしますので、そちらのほうも何とか今後、活用できるような形で町内会等と検討しながら進めてまいりたいと考えております。

オペレーターにつきましては、やはり依然と確保するのは厳しい状況でございます。雪の降り始めの除雪っていうのは、確かに今委員おっしゃったとおり、大事なのかなというような感じはしております。そこら辺はですね、委託業者に確認もしながら、なるべく道路の支障にならないような形で努めていきたいと考えております。

排雪につきましては、全部排雪できればいいのですが、なかなか財政的にも厳しい状況でございますので、昨年につきましては幹線のほかに市道となる生活道路、交通量の多いところになるのですがそこら辺、あと病院医療機関につながる道路の排雪も行っておりますので、できるだけそこら辺の部分につきましては、雪の降雪にも、状況にもよりますが、できるだけ交通に支障にないような形でしていきたいと考えております。

○山田庫司郎委員 本当にたくさんやらなければならないことが多いのですが、一つよろしくお願ひしたいと思ひます。

それで、本当にこの体制、今年は、また何とかあったんだというふうに思ひますが、前回のときからいろいろと議論があります。この除雪が、今の体制が本当にいつまで続くのだろうという市民の不安と、私も不安に思ひていますが、誰が悪いということでは、私はないと思ひますが、本当にどこかの時点でいろいろなことを、出動基準を見直すであるとか、いろいろなことを今度は考えていかなければならないなんていうことが、私は二、三年後に来そうな気が心配も含めてしてありますから、そのときには、やっぱり市民と話し合う中で、市民に不便をかけることにもなるかもしれませんが、しっかりとした中で、これからの除雪体制を考えていく必要が私はもう来ているのだろうというふうに思ひますか

ら、本当に皆さんの御努力によって、こういう形で市民を支えていただけていますから、業者の方を含めてですね、心から感謝したいのですが、そういう今状況にあるということは原課が一番わかっていると思ひますが、どっかの時点で、やっぱり市民に明らかにする中で、私は議論を展開することも必要ではないかというふうに思ひますのでこれは一つの要望として話させていただいて終わります。

○井戸達也委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者なし〕

それでは、この件につきましてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、これを持ちまして、総務経済委員会を終了いたします。

午前10時35分閉会